



80
80th Anniversary of
Kyōka's Death

特別展
泉鏡花没後
80年

明治・大正
文藝シネマ
浪漫



2019年10月11日(金)～2020年1月13日(月祝)

鎌倉市川喜多映画記念館

◆特別展観覧料金◆

一般 300 円(210円)

小・中学生 150 円(105円)

()内は 20名以上の団体料金

特別協力：国立映画アーカイブ



映画「真珠夫人」(1927年)
国立映画アーカイブ所蔵



映画「丹下左膳」(1933年)
国立映画アーカイブ所蔵



ささめやゆき
「鎌倉文学スケッチ～夏目漱石～」

2019年は、かつて鎌倉・逗子に暮らした泉鏡花(1873年11月4日ー1939年9月7日)の没後80年にあたります。鏡花の作品は『婦系図』『滝の白糸』をはじめ数多く映画化され、その独特な世界観は世代を超えて愛されています。本展では鏡花を中心に、明治・大正から戦前

にかけての「近代」に活躍した文豪とその映画化作品を、当時の貴重な映画ポスターや、ゆかりの資料を通して紹介します。この時代はまた、映画が誕生し、新しいメディアとして急速に浸透していく時期とも重なります。同時代の大衆小説が盛んに映画化、あるいは新派の舞台を

経て映画となり、活動弁士による語りとともに親しまれる――そのようなメディアミックスの象徴的な存在が泉鏡花だと言えるでしょう。映画が様々な芸術・文化風俗と密接に関わり合いながら成長していく様を感じていただけたら幸いです。

ギャラリートーク&旧和辻邸見学ツアー

展示室と旧川喜多邸別邸(旧和辻哲郎邸)を解説付きでご案内します。

- 10月11日(金)、12日(土)、25日(金)、27日(日)※
- 11月8日(金)、9日(土)、29日(金)、30日(土)※
- 12月13日(金)、14日(土)
- 2020年1月10日(金)、12日(日)
- 各日13時～(約30分/要展示観覧料)

※10月27日(日)・11月30日(土)は鎌倉市鎌木清方記念美術館(特別展「泉鏡花没後80年清方と鏡花～ふたりで紡ぐ物語の世界～」)会期:10月26日～12月1日)との展示解説リレーツアーを行います。13時～14時半頃終了予定
(27日:鎌倉市鎌木清方記念美術館に集合、30日:川喜多映画記念館に集合)

協力(敬称略): 泉鏡花記念館、愛媛県美術館、鎌倉市鎌木清方記念美術館、国際交流基金、嵐プロ、ささめやゆき、竹久夢二美術館、浜野佐知、文京ふるさと歴史館、マツダ映画社
デザイン: コンドウヒロミ

料金: 一般 1500円 / 小・中学生 750円

特別上映

活動弁士・澤登翠のかまくら活弁&トーク

映画が「音」を獲得する以前、20世紀はじめの無声映画時代、日本では映画を「活動写真」と呼び、映画の内容を解説したり登場人物の声色をまねて台詞を話す「活動弁士」と呼ばれる解説者がいました。そんな明治・大正・昭和初期に人気を誇った映画ジャンル「新派メロドラマ」「チャンバラ時代劇」の代表作を、当館ではおなじみの活動弁士・澤登翠さんによる活弁上映でお楽しみいただきます。



上映後には、作品や時代背景について語っていただくトークイベントも実施します。

2019年11月2日(土)13:30～
= チケット発売日: 9月21日(土) =

瀧の白糸 《復元最長版》

■国立映画アーカイブ所蔵作品

1933年/白黒/35mm/105分

原作: 泉鏡花『義血快曲』

監督: 溝口健二

出演: 入江たか子、岡田時彦、菅井一郎

新派演劇や映画で親しまれている鏡花の代表作を溝口健二が映画化。大スタア、入江たか子と岡田時彦が水芸の女太夫と苦学生の悲恋を演じる。欠落していたラストが復元された最長版での上映。



2020年1月11日(土)13:30～
= チケット発売日: 12月1日(日) =

鞍馬天狗

1928年/白黒/16mm/75分

原作: 大佛次郎

監督: 山口哲平

出演: 嵐寛寿郎、山本礼三郎、五味国枝、尾上松緑

剣戟スタア、アラカンこと嵐寛寿郎の当り役として、戦前～戦後に40本以上が製作された人気シリーズ。幕末を舞台に、勤皇の志士・鞍馬天狗が新撰組と対立しながら縦横無尽に活躍する姿を描く。



11月4日(月振休) 13:00～15:30 (終了予定)

鎌倉市制80周年記念特別イベント 川喜多映画記念館 × 鎌木清方記念美術館
泉鏡花「星あかり」朗読イベント+妙長寺見学ツアー ◎朗読: 奈佐健臣さん(俳優)

明治24年の夏、鏡花は鎌倉・妙長寺に滞り、その体験を元に明治31年に「みだれ橋」(後に「星あかり」と改題)として発表しました。怪奇と幻想が入り混じった鏡花の小説世界を、旧川喜多邸別邸(旧和辻邸)にて朗読と鎌木清方記念美術館学芸員による解説でお楽しみいただいた後は、妙長寺を見学し、在りし日の鏡花を偲びます。

■料金: 1600円(拝観料含む) ■定員: 35名(先着順)

■申込: 10月1日より、川喜多映画記念館(0467-23-2500)まで

11月16日(土) 13:30～ ■料金: 一般1500円 / 小・中学生750円
= チケット発売日: 10月19日(土) =

【特別上映】『樋口一葉』上映+トークイベント「明治・大正の新しい女性像」
講師: 関礼子さん(中央大学教授/日本近代文学)

明治を迎え、近代へと大きく時代が転換する中で、社会や法律、家制度や道徳観によって抑えつけられてきた女性の中からも、自らの言葉を獲得し表現する女性たちが現れるようになりました。樋口一葉や与謝野晶子といった女性文学者が切り開いた道は、やがて「新しい女」として、平塚らいてう、林芙美子などによって確実に受け継がれ、また文学の中で描かれる女性像も変化を遂げていきました。

上映後のトークイベントでは、近代女性文学を専門とする関礼子さんに、この時代に生まれた新しい女性像について、映画『樋口一葉』『華の乱』と関連づけながらお話しいただきます。

①坊っちゃん

1953年/東宝/白黒/35mm/111分
監督：丸山誠治
出演：池部良、岡田茉莉子、小沢栄、森繁久彌、浦辺象子

作者自身の体験を元に書かれ、漱石作品の中でも特に愛されている原作の最初の映画化。血気盛んで無鉄砲な新任教師が、赴任先の松山で個性溢れる人物たちと繰り広げる波乱万丈の日々を描く。

10月22日(火祝)・23日(水)・25日(金)・26日(土)

原作：夏目漱石



②こころ

《英語字幕付上映》
■国際交流基金所蔵作品
1955年/日活/白黒/35mm/122分
監督：市川崑
出演：森雅之、新珠三千代、三橋達也、安井昌二、北林谷栄

明治天皇崩御に伴う乃木大将の殉死に衝撃を受けて書かれた、漱石晩年の代表作にして国内外で広く読まれている小説の映画化。先生からの遺書を通して、人間の持つ普遍的なエゴイズムが重く浮かび上がる。

10月22日(火祝)・23日(水)・25日(金)・26日(土)

原作：夏目漱石



③雁

1953年/大映/白黒/16mm/104分
監督：豊田四郎
出演：高峰秀子、芥川比呂志、宇野重吉、東野英治郎、浦辺象子

明治を代表する文学者、鷗外の原作を映画化。貧しさから高利貸の妾となり、日陰の暮らしに耐えつつも、やがて近所の医学生に恋心を抱く女性の儚い内面を丁寧に描き出す。上野界隈を再現した美術は圧巻。

10月24日(木)・27日(日)

原作：森鷗外



④残菊物語

(デジタル修復版)
1939年/松竹/白黒/DCP/143分
監督：溝口健二
出演：花柳章太郎、森赫子、河原崎権十郎、梅村善子

晩年鎌倉に居住した作家の短編を、新派舞台化を経て映画化。歌舞伎役者・二代目尾上菊之助が、身分違いの恋と芸の道の間で揺れる姿を描いた芸道・悲恋物。巨匠・溝口健二、戦時下の傑作として知られる。

10月29日(火)・30日(水)・11月1日(金)・3日(日祝)

原作：村松梢風



⑤婦系図 湯島の白梅

おんなけいず
1955年/大映/白黒/35mm/116分
監督：衣笠貞之助
出演：鶴田浩二、山本富士子、森雅之、藤田佳子

若きドイツ文学者と芸者上りの恋人房が、恩師への義理立てから別れざるを得なくなり、女は男を想いながら病に伏せる…師・尾崎紅葉から結婚を反対された鏡花自身の体験を元にした、鏡花の代表作を映画化。

10月29日(火)・31日(木)・11月1日(金)・3日(日祝)

原作：泉鏡花



⑥樋口一葉

1939年/東宝/白黒/35mm/83分
監督：並木鏡太郎
出演：山田五十鈴、高峰秀子、堤真子、高田稔、英百合子

生活苦に喘ぎながらも数々の傑作を生み出し、24歳の若さでこの世を去った樋口一葉。近代にその活躍が花開く女性作家の先駆的存在である一葉の生涯を、代表作「たけくらべ」の小説世界と絡ませて描く。

11月12日(火)・13日(水)・15日(金)・16日(土)★特別上映



⑦華の乱

1988年/東映/カラー/35mm/139分
監督：深作欣二
出演：吉永小百合、松田優作、船形拳、池上季実子、松坂慶子

近代女性文学を代表する与謝野晶子の視点から、夫・鉄幹をはじめ有島武郎、大杉栄、松井須磨子ら同時代を彩った人物を描いた群像大河口マン。明治・大正という激動の時代が想像力溢れる筆致で甦る。

11月12日(火)・14日(木)・16日(土)・17日(日)

原作：永畑道子



⑧ツイゴイ初イゼン

1980年/シネマブラセット/カラー/35mm/145分
監督：鈴木清順
出演：原田芳雄、大谷直子、藤田敏八、大楠道代

日常と異界が交錯し合う内田百閒の短編を組み合わせて映像化した、清順美学が炸裂する「浪漫3部作」の第1作。釈迦堂切通し、妙本寺など鎌倉の名所を舞台に、登場人物たちが艶っぽい戯れを繰り広げる。

11月19日(火)・20日(水)・22日(金)・23日(土祝)

原作：内田百閒



⑨陽炎座

1981年/シネマブラセット/カラー/35mm/139分
監督：鈴木清順
出演：松田優作、大楠道代、中村嘉津雄、加賀まりこ、楠田枝里子

鏡花のいくつかの短編をコラージュして映像化した、「フィルム歌舞伎」と称される作品。新派の劇作家が妖しげな女との出会いから、夢とも現実ともつかぬ世界に誘い込まれ、やがて奇妙な芝居小屋に辿り着く。

11月19日(火)・21日(木)・22日(金)・24日(日)

原作：泉鏡花



⑩夢二

1991年/戸部次郎事務所/カラー/35mm/128分
監督：鈴木清順
出演：沢田研二、穂谷友子、宮崎萬純、大楠道代、坂東玉三郎

大正ロマンを代表する人気画家・竹久夢二を題材に、芸術家としての苦悩や女性たちとの愛憎の顛末を色彩豊かに描く。鏡花作品がモチーフとなり、秋の金沢で撮影が敢行されるなど鏡花とのゆかりも深い作品。

11月20日(水)・21日(木)・23日(土祝)・24日(日)



⑪瀬東綺譚

1960年/東宝/白黒/35mm/120分
監督：豊田四郎
出演：山本富士子、芥川比呂志、新珠三千代、淡路恵子

向島に実在した私娼街・玉の井を舞台に、小説家と心優しい娼婦の出会いから別れまでをしみじみと描く。荷風自身の体験に基づく原作は、木村莊八による挿絵の叙情性と相まって作者の最高傑作とも評される。

12月3日(火)・4日(水)・6日(金)・7日(土)

原作：永井荷風



⑫細雪

1983年/東宝/カラー/DCP/140分
監督：市川崑
出演：岸恵子、佐久間良子、吉永小百合、古手川裕子、石坂浩二

松子夫人とその姉妹をモデルに、戦時下の検閲を受けつつも、失われゆく上方の伝統文化を憐れんで書かれた谷崎の代表作3度目の映画化。本作ではスター女優たちが身に着ける着物にも美が凝縮されている。

12月3日(火)・5日(木)・6日(金)・8日(日)

原作：谷崎潤一郎



⑬雪国

1957年/東宝/白黒/35mm/134分
監督：豊田四郎
出演：池部良、岸恵子、八千草薫、森繁久彌、市原悦子

ノーベル文学賞作家・川端康成の代表作として、世界中で翻訳され読み継がれている名作の映画化。東京に妻子ある男が雪国に暮らす芸者と恋仲になり、冬のたびに雪国を訪れる歳月を叙情的に描く。

12月4日(水)・5日(木)・7日(土)・8日(日)

原作：川端康成



⑭路傍の石

1960年/東宝/白黒/35mm/104分
監督：久松静児
出演：原節子、太田博之、森繁久彌、三橋達也

政治家としても名を成した作家による、未完かつ不朽の名作3度目の映画化。没落士族の家庭に育ち、成績優秀だが貧しくゆえ進学が困難な少年が、社会の厳しさに直面しながらも逞しく成長していく姿を描く。

12月10日(火)・11日(水)・13日(金)・14日(土)

原作：山本有三



⑮地上

1957年/大映/カラー/35mm/98分
監督：吉村公三郎
出演：川口松太郎、野添ひとみ、香川京子、田中絹代

金沢出身の早世の作家による大正期を代表するベストセラーの映画化。作者自身の経験を中心に、貧困や身分違いの恋愛から社会の理不尽さに目覚めていく若者を描く。主演の2人は後に実生活でも結婚した。

12月10日(火)・12日(木)・13日(金)・15日(日)

原作：島田清次郎



⑯何が彼女をそうさせたか

1930年/新キネマ/白黒/35mm(サウンド)78分
監督：鈴木重吉
出演：高津慶子、藤間林太郎、小島洋々、牧英勝、浜田格

大正時代、労働者たちの厳しい現実を描いたプロレタリア文学の興隆から登場した「傾向映画」の代表作。世界恐慌の只中で公開され、流行語になるほどの大ヒットとなったが、長らく幻の名画と言われていた。

12月11日(水)・12日(木)・14日(土)・15日(日)

原作：藤森成吉



⑰宮本武蔵

1961年/東映/カラー/35mm/110分
監督：内田吐夢
出演：中村錦之助、木村功、浪花千栄子、入江若葉、三國連太郎

日本が戦争へ向かう時代を背景に、大衆から圧倒的な支持を得た吉川英治による原作を、東映の大スター・錦之助と巨匠・内田吐夢のコンビが全5部作で映画化。1作目では武蔵が人間として知性に目覚めるまでを描く。

1月7日(火)・8日(水)・10日(金)・12日(日)

原作：吉川英治



⑱宮本武蔵 一乗寺の決斗

1964年/東映/カラー/35mm/128分
監督：内田吐夢
出演：中村錦之助、木村功、入江若葉、平幹二郎、江原真二郎

シリーズ最高傑作とも評される第4作。武蔵の二刀流が爆発するクライマックスで、監督の内田はあえて画面をモノクロにし、朝比みの野に撮影された田園地帯での戦いが幽玄な映像美をもたらしている。

1月7日(火)・9日(木)・10日(金)・12日(日)

原作：吉川英治



*上映時間は裏のスケジュール欄をご覧ください。 *作品により映像・音声が必要しも良好ではないものがあります。場合によっては上映素材・作品の変更がありますことをご了承ください。

上映スケジュール

特別展 関連上映 明治・大正 文藝シネマ浪漫 チケット発売日：9月21日(土)	10月	22 火祝	10:30	坊っちゃん (111分)	14:00	こころ (122分) 《英語字幕付上映》	
		23 水	10:30	こころ (122分) 《英語字幕付上映》	14:00	坊っちゃん (111分)	
		24 木	10:30	雁 (104分)	14:00	雁 (104分)	
		25 金	10:30	坊っちゃん (111分)	14:00	こころ (122分) 《英語字幕付上映》	
		26 土	10:30	こころ (122分) 《英語字幕付上映》	14:00	坊っちゃん (111分)	
		27 日	10:30	雁 (104分)	14:00	雁 (104分)	
		29 火	10:30	残菊物語 (143分)	14:00	婦系図 湯島の白梅 (116分)	
		30 水			14:00	残菊物語 (143分) ☆映画談話室	
		31 木			14:00	婦系図 湯島の白梅 (116分)	
		11月	1 金	10:30	婦系図 湯島の白梅 (116分)	14:00	残菊物語 (143分)
シネマセレクション 鎌倉・萩・上田・足利 一映画がつなぐ姉妹都市ー チケット発売日：10月19日(土)		2 土			13:30	★【特別上映】 瀧の白糸 (105分) 活弁+トークイベント	
		3 日祝	10:30	婦系図 湯島の白梅 (116分)	14:00	残菊物語 (143分)	
		4 月振替	10:30	幕末太陽傳 (110分)	13:30	兄消える (104分)+アフタートーク	
		6 水	10:30	胸より胸に (108分)	14:00	幕末太陽傳 (110分)	
		7 木	10:30	兄消える (104分)	14:00	胸より胸に (108分)	
		8 金	10:30	幕末太陽傳 (110分)	14:00	兄消える (104分)	
		9 土	10:30	幕末太陽傳 (110分)	13:30	胸より胸に (108分)+アフタートーク	
		10 日	10:30	胸より胸に (108分)	13:30	兄消える (104分)+アフタートーク	
	◇シネマセレクション期間中は情報資料室にて「あしがまちドラマ」(59分)をご覧ください。						
	特別展 関連上映 明治・大正 文藝シネマ浪漫 チケット発売日：10月19日(土)		12 火	10:30	樋口一葉 (83分)	14:00	華の乱 (139分)
		13 水			14:00	樋口一葉 (83分)	
		14 木			14:00	華の乱 (139分)	
		15 金			14:00	樋口一葉 (83分)	
		16 土	10:00	華の乱 (139分)	13:30	★【特別上映】 樋口一葉 (83分)+トークイベント	
		17 日			14:00	華の乱 (139分)	
		19 火	10:30	ツイゴインルワイゼン (145分)	14:00	陽炎座 (139分)	
		20 水	10:30	夢二(128分)	14:00	ツイゴインルワイゼン (145分)	
		21 木	10:30	陽炎座 (139分)	14:00	夢二(128分)	
		22 金	10:30	ツイゴインルワイゼン (145分)	14:00	陽炎座 (139分)	
	23 土祝	10:00	夢二(128分) ☆映画談話室	14:00	ツイゴインルワイゼン (145分)		
	24 日	10:30	陽炎座 (139分)	14:00	夢二(128分)		
◇11月19日(火)~24日(日) ささめやゆき作品展「旧川喜多邸別邸と絵画-雪ノ下エトランジェ-」を旧和辻邸にて開催します。<10時~16時/要展示観覧料>							
特別展 関連上映 明治・大正 文藝シネマ浪漫 チケット発売日：11月16日(土)	12月	3 火	10:30	暹東綺譚 (120分)	14:00	細雪 (140分)	
		4 水	10:30	雪国 (134分)	14:00	暹東綺譚 (120分)	
		5 木	10:30	細雪 (140分)	14:00	雪国 (134分)	
		6 金	10:30	暹東綺譚 (120分)	14:00	細雪 (140分)	
		7 土	10:30	雪国 (134分)	14:00	暹東綺譚 (120分)	
		8 日	10:30	細雪 (140分)	14:00	雪国 (134分)	
		10 火	10:30	路傍の石(104分)	14:00	地上 (98分)	
		11 水	10:30	何が彼女をそうさせたか (78分)	14:00	路傍の石(104分)	
		12 木	10:30	地上 (98分)	14:00	何が彼女をそうさせたか (78分) ☆映画談話室	
		13 金	10:30	路傍の石(104分)	14:00	地上 (98分)	
	14 土	10:30	何が彼女をそうさせたか (78分)	14:00	路傍の石(104分)		
	15 日	10:30	地上 (98分)	14:00	何が彼女をそうさせたか (78分)		
特別展 関連上映 明治・大正 文藝シネマ浪漫 チケット発売日：12月1日(日)	1月	7 火	10:30	宮本武蔵 (110分)	14:00	宮本武蔵 一乗寺の決斗 (128分)	
		8 水			14:00	宮本武蔵 (110分)	
		9 木			14:00	宮本武蔵 一乗寺の決斗 (128分)	
		10 金	10:30	宮本武蔵 一乗寺の決斗 (128分)	14:00	宮本武蔵 (110分)	
		11 土			13:30	★【特別上映】 鞍馬天狗 (75分) 活弁+トークイベント	
		12 日	10:30	宮本武蔵 (110分)	14:00	宮本武蔵 一乗寺の決斗 (128分)	

☆映画談話室とは、当館スタッフが進行役となり、上映作品の解説も盛り込みながら、映画について皆様と語り合う時間です(約30分)。ゲストの方にご登壇いただくこともあります。出入り自由ですので、ぜひお気軽にご参加ください。

Kamakura City Kawakita Film Museum
鎌倉市川喜多映画記念館
 TEL:0467-23-2500
 〒248-0005
 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12
<http://www.kamakura-kawakita.org>
 開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
 休館日 月曜日(祝日は開館)、10月15日(火)、11月5日(火)、12月29日(日)~1月3日(金)
 主催：川喜多・KBSグループ(鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者)
 ※駐車設備がありませんので、公共交通機関をご利用ください。



特別展観覧料 * ()内は20名以上の団体料金 * 映画鑑賞料金は別途
 一般：300(210)円 小・中学生：150(105)円
 《特別割引》当館の展覧会を50円引きにてご覧いただけます。
 ☆着物でのご来館のお客様：2019年10月11日(金)~2020年1月13日(月祝)
 ☆鎌倉市清水方記念美術館「清方と鏡花」展のチケットをご提示いただいたお客様：2019年10月26日(土)~12月1日(日) ※割引の併用はできません。

映画鑑賞料金(展示観覧料含む)
 一般：1000円 小・中学生：500円
★特別上映 一般：1500円 小・中学生：750円
 ※チケット完売の場合はご入場いただけません。(定員：51席)

◆チケット発売開始日
 10月の上映作品 ①~⑤：9月21日(土)
 11月の上映作品 ⑥~⑩：10月19日(土)
 12月の上映作品 ⑪~⑮：11月16日(土)
 1月の上映作品 ⑯~⑳：12月1日(日)

◆チケット取扱い・お問合せ窓口
 川喜多映画記念館窓口 0467-23-2500
 たらば書房(鎌倉駅西口) 0467-22-2492
 島森書店(鎌倉駅東口) 0467-22-0266